

夏ギクの異なる生長段階における灌水量の違いがキクの草姿に及ぼす影響

安部秀雄・木村喜久夫・植松照義

キクに対する灌水方法が、草姿に与える影響を知るため、宇宙船、金力および浜の粧の3品種を用いて検討し、つぎの結果を得た。

1. 灌水量を少なくすると葉長・葉巾ともに小さくなり、とくに箱栽培では3月下旬～4月上旬の間に灌水量を少なくした区が、またベッド栽培では4月に灌水量を少なくした方が小さくなった。
2. 2～3月に灌水量を少なくしても、花首長は短くならなかったが、4月に灌水量を少なくした区の花首長が短くなった。しかし同時に切花長も短くなることが判った。
3. 葉の大きさ、切花長および花首の長さは、灌水量を変えることによって変動するが、箱栽培では pF を 1.8～2.0、ベッド栽培では pF を 1.2～1.8 で管理し、灌水量を変えない区が良好な草姿を示した。